

## NY マーケットレポート (2015年8月12日)

中国が2日連続で事実上の人民元切り下げを実施したことから、マーケットでは中国経済に対する懸念が高まり、その影響を受けて米国の利上げ開始時期が遅れるとの見方が広がっており、ドルはアジアタイムから軟調な動きが続いており、NY市場でも序盤から軟調な動きとなった。また、欧米の株価が大きく下落したことから、クロス円も序盤は軟調に推移した。ただ、午後には大きく下落した米株価がプラス圏まで反発する動きとなったことから、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。そして、米10年債の入札が低調だったことで利回りが上昇したことも、ドルの押し上げ要因となった。

### 2015/8/12 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	124.49	125.26	124.32
EUR/JPY	138.36	138.69	138.05
GBP/JPY	194.08	195.04	193.88
AUD/JPY	90.90	91.65	90.37
EUR/USD	1.1075	1.1121	1.1025

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.70	124.13
EUR/JPY	138.78	138.35
GBP/JPY	194.25	193.48
AUD/JPY	91.41	90.76
EUR/USD	1.1158	1.1115

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20392.77	-327.98
ハンセン指数	23916.02	-582.19
上海総合	3886.32	-41.59
韓国総合指数	1975.47	-11.18
豪ASX200	5382.08	-91.15
インドSENSEX指数	27512.26	-353.83
シンガポールST指数	3061.49	-91.57

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6571.19	-93.35
仏CAC40	4925.43	-173.60
独DAX	10924.61	-369.04
ST欧州600	382.99	-10.62
西IBX35指数	10880.10	-272.20
伊FTSE MIB指数	22997.55	-700.94
南ア全株指数	50570.60	-165.57

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	124.18	124.27	123.80
EUR/JPY	138.68	138.86	138.32
GBP/JPY	193.95	194.08	193.49
AUD/JPY	91.61	91.73	91.08
NZD/JPY	82.22	82.36	81.72
EUR/USD	1.1168	1.1214	1.1142
AUD/USD	0.7377	0.7388	0.7336

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17402.51	-0.33
S&P500	2086.05	+1.98
NASDAQ	5044.39	+7.60
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14339.53	-75.14
🇧🇷 ボルサ指数	44032.38	-347.41
🇲🇽 ボベスパ指数	48388.05	-684.29

8/13 経済指標スケジュール	
08:01	【英】7月RICS住宅価格
08:50	【日】6月機械受注
10:00	【豪】8月消費者インフレ期待
15:00	【独】7月消費者物価指数
15:45	【仏】7月消費者物価指数
16:15	【スイス】7月生産者輸入価格
16:30	【スウェーデン】7月消費者物価指数
20:30	【欧】7月欧州中銀、議事要旨公表
21:00	【ポーランド】6月経常収支
21:00	【ポーランド】6月貿易収支
21:00	【ポーランド】7月消費者物価指数
21:30	【カナダ】6月新築住宅価格指数
21:30	【米】7月新規失業保険申請件数
21:30	【米】7月失業保険継続受給者数
21:30	【米】7月小売売上高
21:30	【米】7月輸入物価指数
21:30	【カナダ】6月新築住宅価格指数
23:00	【米】6月企業在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1123.60	+15.90
NY 原油	43.30	+0.22
CME コーン	368.00	-19.50
CBOT 大豆	910.00	-61.50

米債利回り	本日	前日
2年債	0.66%	0.67%
3年債	1.01%	1.00%
5年債	1.51%	1.53%
7年債	1.88%	1.89%
10年債	2.14%	2.14%
30年債	2.84%	2.81%

8/13 主要会議・講演・その他予定
・米30年債入札

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 124.19 ユーロ/円 138.42 ユーロ/ドル 1.1147

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6578.17	-86.37	ダウ 先物ミニ	17221	-134
仏 CAC40	4969.67	-129.36	S&P 500 ミニ	2064.50	-15.25
独 DAX	11020.80	-272.85	NASDAQ 100 ミニ	4477.25	-33.50

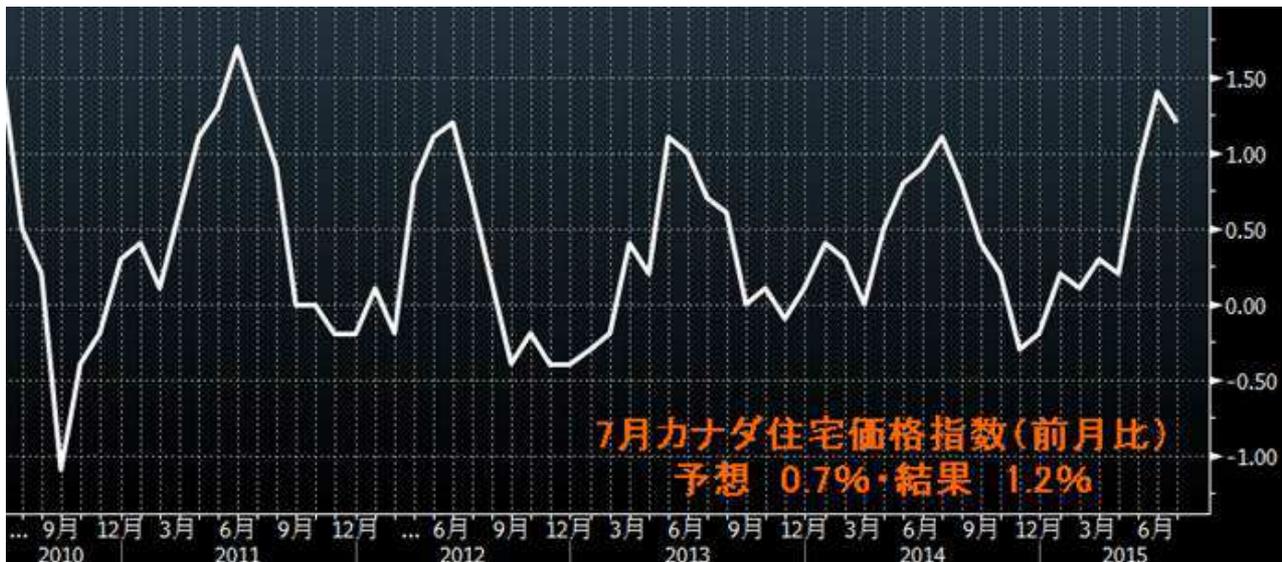
(出所: SBILM)

21:34

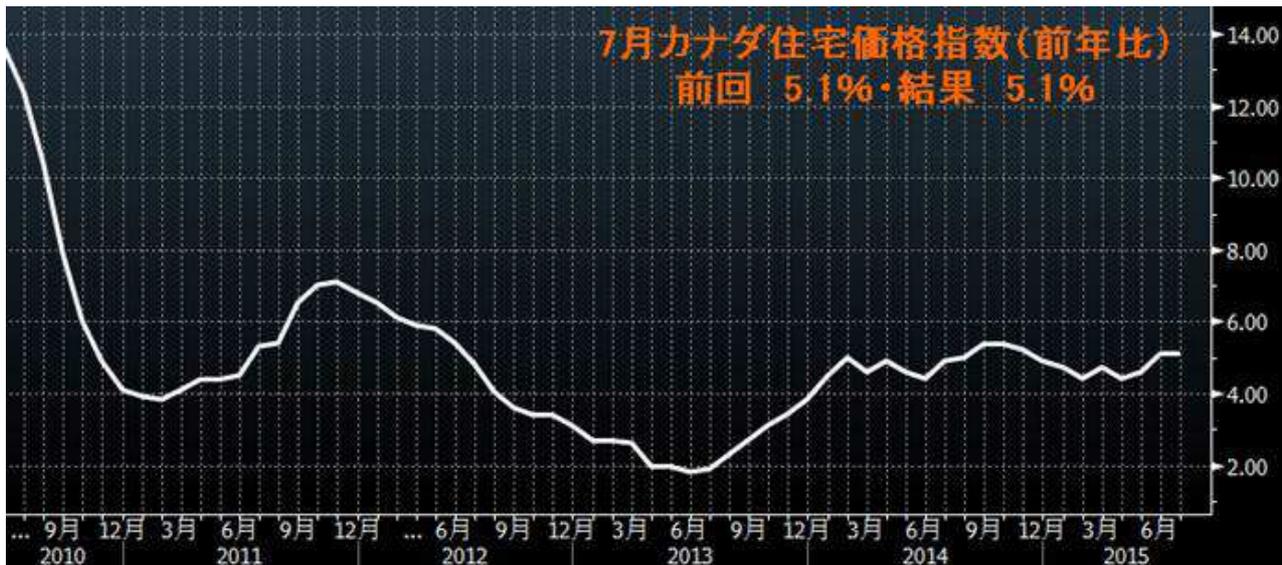
◀ 経済指標の結果 ▶

7月カナダ住宅価格指数(前月比) 1.2% (予想 0.7%・前回 1.4%)

7月カナダ住宅価格指数(前年比) 5.1% (前回 5.1%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

21:55

◀ 要人発言 ▶

ダドリー-NY連銀総裁

- ・「中国の為替政策、影響判断するにはまだ早い」
- ・「人民元を経済と調整するのは不適切ではない可能性も」

22:00

◀ 要人発言 ▶

ダドリー-NY連銀総裁

- ・「強い景気回復があれば、その分早く利上げが可能に」
- ・「近い将来に利上げが可能になるよう期待」

22:33

米主要株価

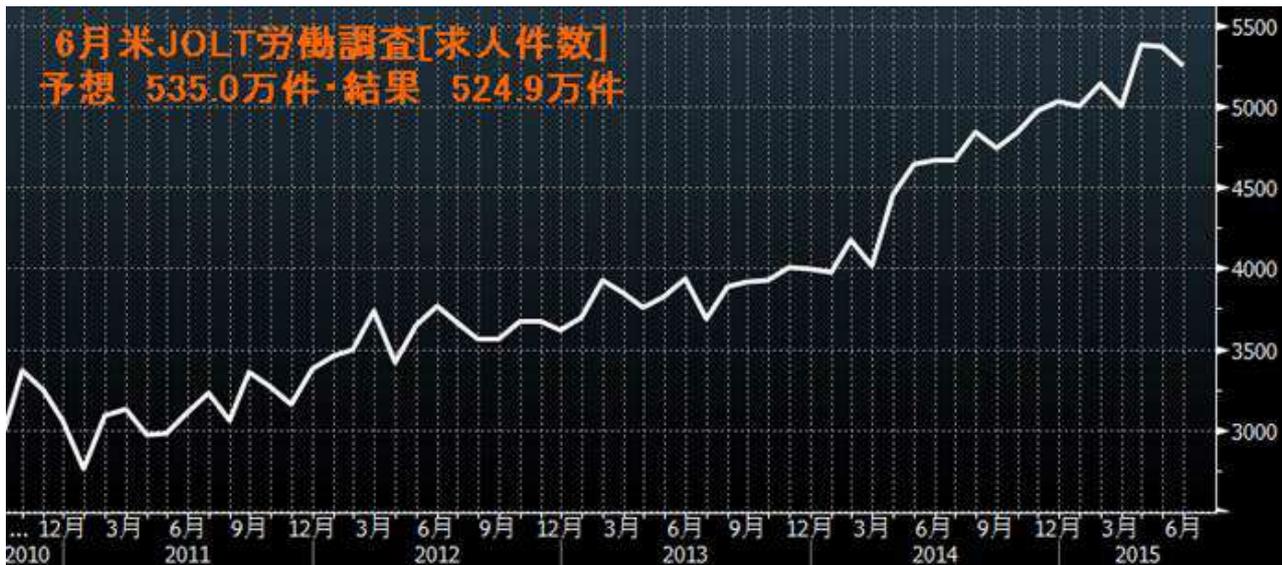
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17232.81	-170.03
ナスダック	4988.88	-47.92

(出所：SBILM)

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米 JOLT 労働調査[求人件数] 524.9 万件 (予想 535.0 万件・前回 535.7 万件)  
 前回発表の 536.3 万件から 535.7 万件に修正



(出所：ブルームバーグ)

#### 指標結果データ

##### 《JOLT 労働調査》

6月・・・5月・・・4月・・・3月・・・2月・・・1月・・・12月  
 求人件数・・・524.9・・・535.7・・・533.4・・・510.9・・・514.4・・・496.5・・・487.7

23:30

##### 《NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、中国経済への警戒感からアジアや欧州の主要株式相場が軒並み下落したことを受けて、主要株価は大きく下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から下げ幅を拡大する動きとなり、一時前日比で177ドル安まで下げる動きとなった。

23:33

##### 《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・168万バレル減少  
 ガソリン在庫・・・125万バレル減少  
 留出油在庫・・・299万バレル増加

##### 《ポイント》

IEA（国際エネルギー機関）が公表した月報によると、今年の世界の石油需要の伸びは日量160万バレルと、過去5年で最大となる見通し。景気回復と原油安が背景。ただ、世界的な供給過剰は来年も続く見通しという。非石油輸出国機構（OPEC）加盟国の生産が来年、米国を中心に伸び悩むとの見通しも示した。

また、イランが経済制裁の解除後に、原油生産を最大で日量73万バレル拡大する可能性があるとの見方を示した。IEAの推定によると、7月のイランの生産量は日量287万バレル。制裁解除後の数カ月で生産量が日量340万-360万バレルに達する可能性があるという。

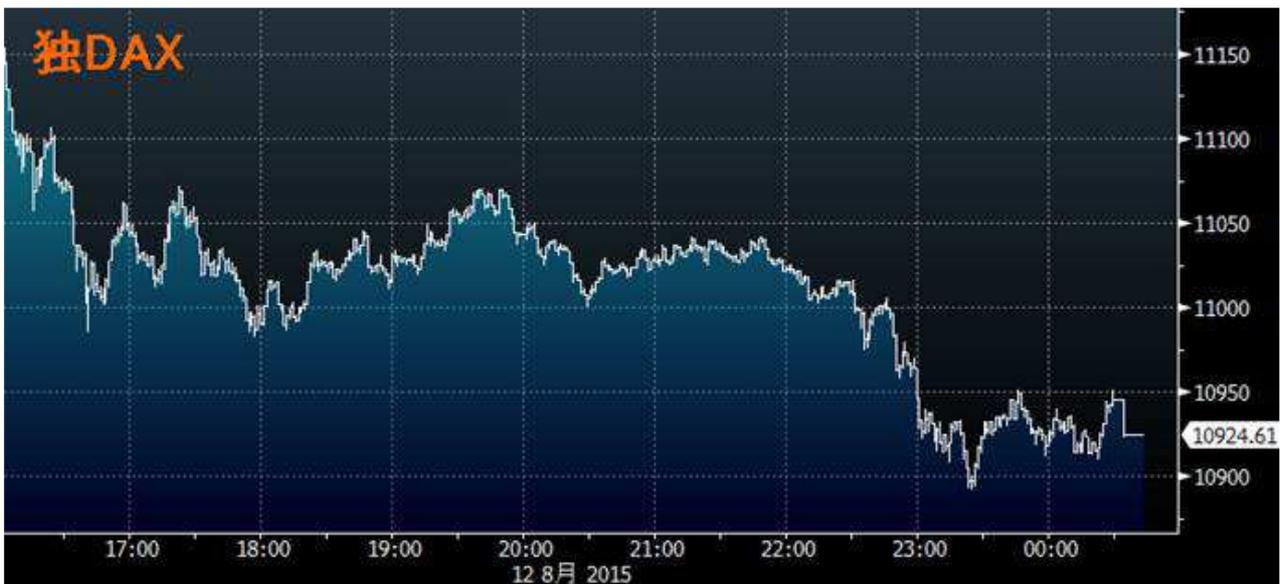
イランのザンギャネ石油相は先に、経済制裁が解除され次第、即座に石油生産量を日量50万バレル引き上げると発言。制裁解除後数カ月以内には、日量100万バレルの増産が可能と表明している。制裁の解除は来年以降になるとみられており、来年第1・四半期も制裁が続いている可能性があるという見通しもある。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6571.19	-93.35
仏 CAC40	4925.43	-173.60
独 DAX	10924.61	-369.04
ストック欧州 600 指数	382.99	-10.62
ユーロファースト 300 指数	1516.82	-42.16
スペイン IBEX35 指数	10880.10	-272.20
イタリア FTSE MIB 指数	22997.55	-700.94
南ア アフリカ全株指数	50570.60	-1650.57

(出所:SBILM)

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、2日連続の人民元切り下げを受けて、中国経済の先行き警戒感が広がり、主要株価は大幅下落となった。特に、中国での需要低下懸念で輸出株を中心に売りが膨らんだ。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17156.45 (-246.39)、S&P500 2058.61 (-25.46) ナスダック 4959.23 (-77.56)

### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、連日の人民元切り下げで中国経済の減速懸念が強まり、株などを売って安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きが加速した。また、ドル高が進行し、米企業の収益悪化や輸入価格の低下につながれば、米FRBは利上げを先送りするとの見方も支援材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.77%（前日2.81%）、10年債が2.09%（2.14%）、7年債が1.82%（1.89%）、5年債が1.46%（1.52%）、3年債が0.97%（1.00%）、2年債が0.63%（0.68%）。

2:00

《米財務省 10 年債入札》

最高落札利回り・・・2.115% (前回 2.225%)  
 最低落札利回り・・・1.950% (前回 2.120%)  
 最高利回り落札比率・・・38.64% (前回 22.75%)  
 応札倍率・・・2.40 倍 (前回 2.72 倍)

3:00

《 経済指標の結果 》

7 月米財政収支 -1492 億 USD (予想 -1400 億 USD・前回 -946 億 USD)



(出所：ブルームバーグ)

3:45

NY 金は、中心限月が前日比 15.90 ドル高の 1 オンス=1123.60 ドルで取引を終了した。

4:35

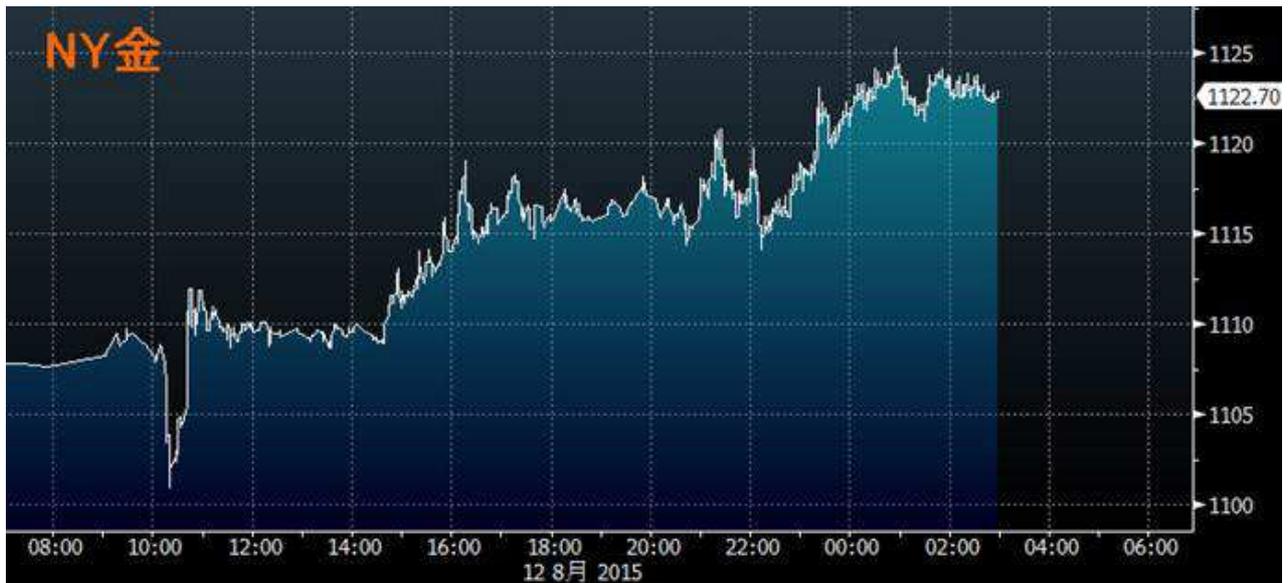
NY 原油は、中心限月が前日比 0.22 ドル高の 1 バレル=43.30 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1123.60	+15.90
NY 原油	43.30	+0.22

(出所：SBILM)

《 NY 金市場 》

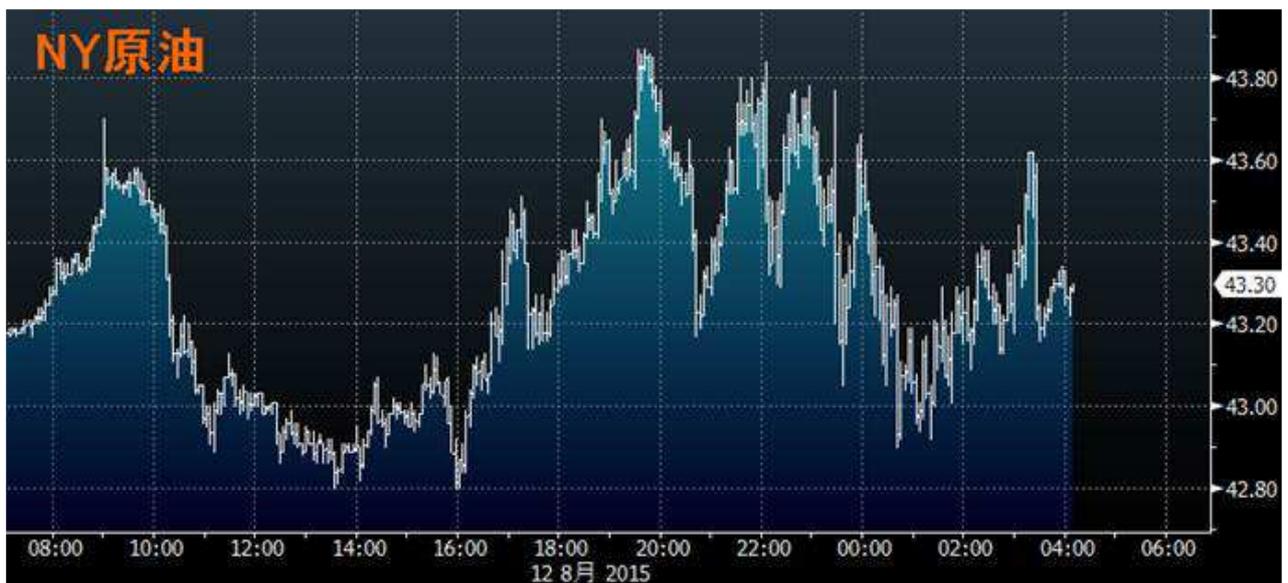
NY 金は、中国経済の減速懸念を背景にアジアや欧米で株が続落したことから、比較的 안전한資産とされる金に資金を避難させる動きが続いた。また、ドルが円やユーロに対し下落したことも材料視された。終値ベースでは、7 月中旬以来、約 1 ヶ月ぶりの高値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

#### ◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、IEA（国際エネルギー機関）が月報で今年の世界の石油需要見通しを上方修正したことが好感され、買いが先行した。また、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建て原油の割安感が出たことも支援材料となった。ただ、米石油統計で原油在庫が市場の予想ほど減少しなかったことから売られる場面もあった。



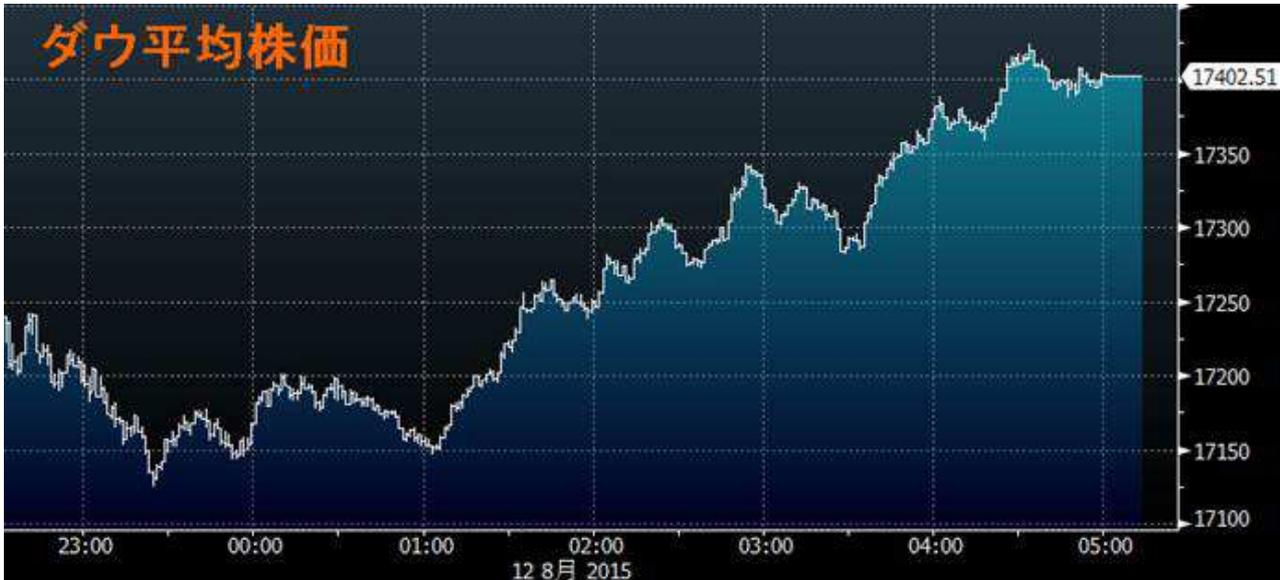
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17402.51	-0.33	17423.90	17125.81
S&P500 種	2086.05	+1.98	+2089.06	2052.09
ナスダック	5044.39	+7.60	5055.75	4945.79

(出所：SBILM)

## 《米株式市場》

米株式市場は、中国経済への警戒感からアジアや欧州の主要株式相場が軒並み下落したことを受けて、主要株価は大きく下落する動きとなった。しかし、午後には下げ幅を縮小する動きとなり、プラス圏まで上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から下げ幅を拡大する動きとなり、一時前日比で277ドル安まで下げる動きとなった。しかし、終盤にかけては下げ幅を縮小し、一時プラス圏まで上昇する場面もあったが結局小幅安で引けた。



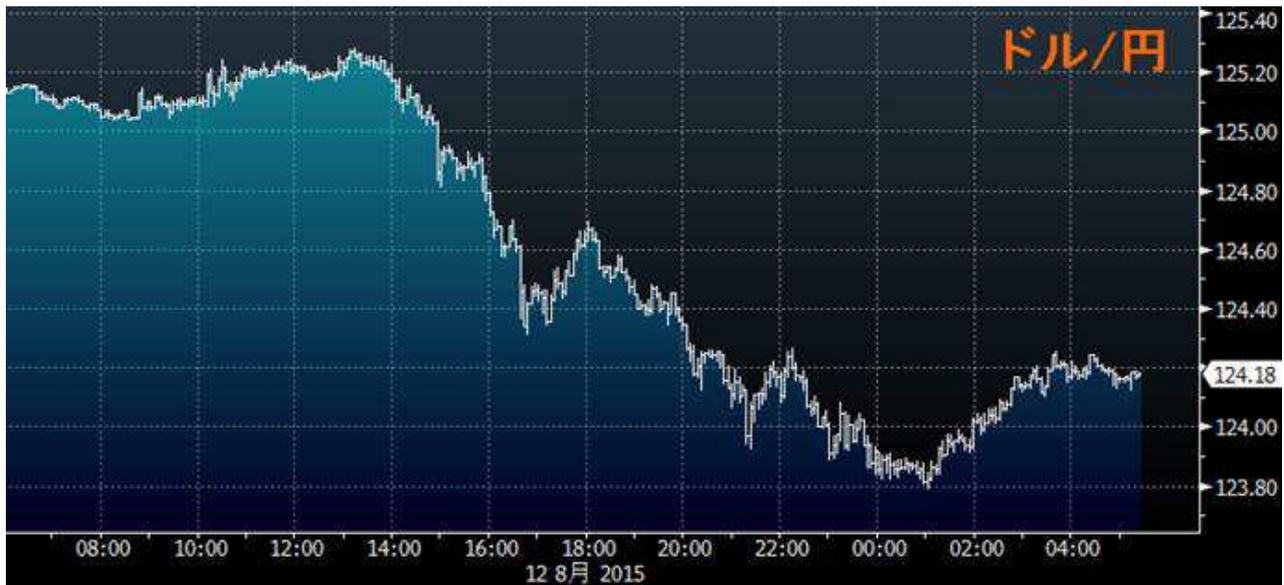
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	124.18	124.27	123.80
EUR/JPY	138.68	138.86	138.32
GBP/JPY	193.95	194.08	193.49
AUD/JPY	91.61	91.73	91.08
NZD/JPY	82.22	82.36	81.72
EUR/USD	1.1168	1.1214	1.1142
AUD/USD	0.7377	0.7388	0.7336

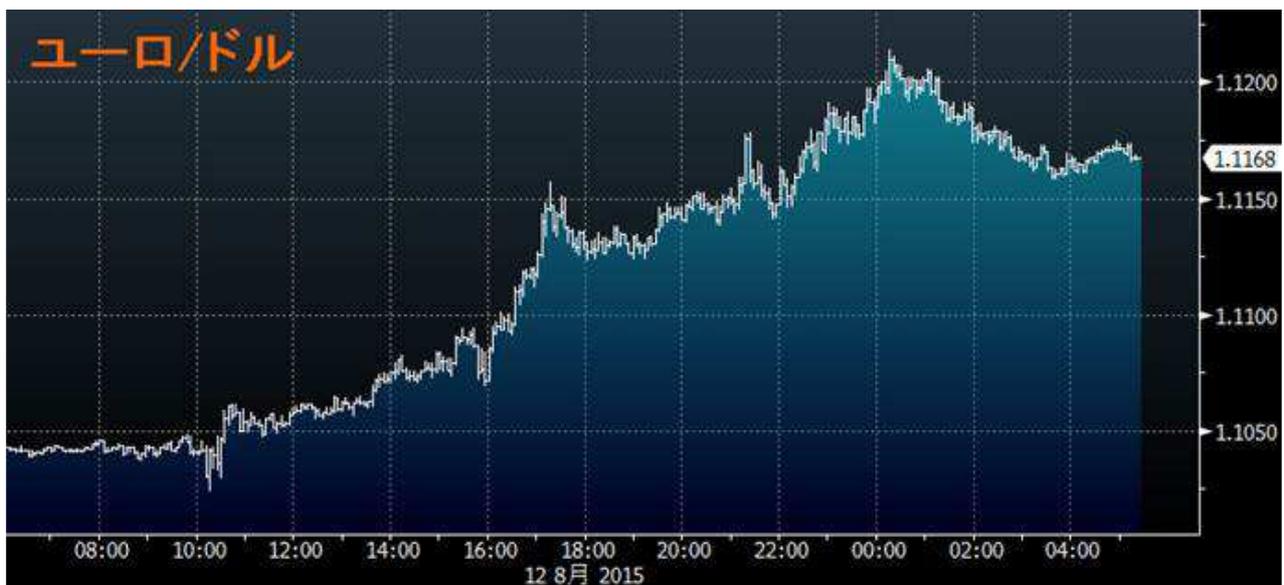
(出所：SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が大きく下落したことなどから、リスク回避の動きも出ており、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。ただ、ドルは利上げ時期が後退するとの懸念もあり、主要通貨に対して軟調な動きとなった。午後には大きく下落した株価がプラス圏まで上昇したことから、ドル円・クロス円は終盤底固い動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。